

令和7年度第3回 三郷市在宅医療・介護連携推進協議会

急変時の対応

具体策の検討

1. 急変時の連携体制が十分であるか
- ~~2. 訪問・通所・短期入所を組み合わせて在宅療養を継続できる仕組みが構築されているか~~

具体策の検討 『1. 急変時の連携体制が十分であるか』

今後の取組について①

救急隊の搬送時の状況とその困りを共有する機会をつくる

(前回協議会振り返り)

意見	対応(案)
①救急隊：救急搬送した患者さんは実は看取り対応のかただった	日頃から家族と関わっている医療・介護の専門職が、家族に看取りの流れを話すこと ・医師ができるだけ連絡がつくように周知する ・看取りの絵本を活用する
②救急隊：搬送時に病院側から付き添いを求められるため、同行していただけるかたを用意いただきたい	在宅医療・介護に関わる専門職へ周知する
③救急医療情報キットのご意見 ・急変時の心肺蘇生等の意思確認 ・ACPに関すること ・服薬内容(薬剤情報を一緒に入れる) ・尊厳死の確認書類等の書類の有無	救急隊・長寿いきがい課にてご意見を基に内容等調整予定
④人生ノートに蘇生の希望について書く欄をつくる	医師会事務局・市事務局にて内容等調整予定

ご意見いただきたいこと

①人生ノートの配布場所、周知方法

※これまでの会議や講座で人生ノートのさらなる普及が必要という声が多数あった

(例) 医療機関への配布、特に入退院時に配布する等

現在の配布状況	
配布済みの場所	配布経緯
市内公共施設、包括等	人生ノート作成時 一斉配布、在庫なしと連絡があった場合追加配布
三郷中央総合病院 三郷三愛会総合病院	長寿いきがい課または医師会 に直接要望があった際配布
市民へ個別配布	ACP出前講座、市民講座等の 在宅医療・介護連携推進事業 のイベント時配布

ご意見いただきたいこと

②人生ノートの家族間での内容共有方法

※本人が人生ノートを記入後、家族間で事前に内容共有がなされておらず、病状悪化時の意思確認に困る

(例) 医療・介護の専門職の呼びかけ等

③緊急連絡先の把握、共有

※救急搬送時、または搬送後に家族へ連絡がつかず困る

(例) 事前に医介専門職間で、連絡先を複数把握するようになる等

今後の取組について②

- 在宅医療・介護に関わる専門職へ「急変時の対応」に関するアンケート調査・分析を行う

※アンケート結果詳細に関しては来年度の第一回協議会でご報告予定

「急変時の対応」に関するアンケート 現況

配布数	284 団体（医療機関、居宅、施設等）
回収数	185 件（FAX 92 件、電子システム 93 件）

- ACPの普及啓発
※広報・啓発部会にて検討

令和7年度 ACP出前講座開催状況

開催回数	4 回
参加人数	第1回：53名 第2回：30名 第3回：48名 第4回：集計中